愛知の土地政良

第 172 号

平成23年9月1日



田んぼアート(名古屋市港区)

另「四 连事去 "又云及云疏 "多子云	_	尹术旧刊
第 52 回全国土地改良功労者表彰式 並びに		□ 水土里情報システム
平成 22 年度農業農村整備優良地区コンクール表彰式	3	水土里情報システム運用開始水土里情報システム試行運用
愛知県知事と農林漁業団体との懇談会	4	□ 水土総合強化推進事業
平成 24 年度農業農村整備予算確保と促進要請活動	5	● 平成23年度愛知県換地等強化事業推進委員会● 平成23年度愛知県管理円滑化事業推進委員会
「食と緑の基本計画2015」策定		● 平成23年度連絡調整会議
— 食と緑が支える豊かな「あいち」をめざして — ·····	6	平成23年度換地事務「新規担当者並びに換地計画実務」研修会技術力向上事業
あいちの農業用水展~水が育てる愛と知の風土~	7	● 日本政策金融公庫農業基盤整備資金の金利改定
会員情報	8	□ 平成23年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体 (31期生~35期生)打合せ会議
□ 加入·脱退 □ 活動情報		測量実地研修を実施、
● 水土里ネット明治用水		本会職員を復旧支援に派遣 15
● 水土里ネット宮田用水		研修会のお知らせ 16
・水土里ネット南陽、名古屋市・水土里ネット愛知用水		平成23年度農業農村整備事業PRイベント 開催案内 … 16



● 水土里ネット豊川総合用水・豊橋市

● 水土里ネット木津用水

水土里ネット愛知

発行所/愛知県土地改良事業団体連合会 名古屋市西区栄生一丁目18番25号 電話〈052〉551-3611(代)

第10回あいちの農業・農村フォトコンテスト 作品募集 … 16

第1回理事会開催

第1回理事会を、8月19日愛知県土地改良会館7階大会議室において開催した。理事会は始めに神谷金衛会長の挨拶、続いて、参与としてご臨席の県幹部の方々を代表し、溝田大助愛知県農林水産部農林基盤担当局長より挨拶をいただき、議事に入った。提出した下記議案は、いずれも原案どおり承認、可決された。



理事会

記

- 1 平成22年度事業報告並びに一般会計収支決算及び財産目録の承認について
- 2 水土保全強化対策事業推進委員会設置運営規程の一部変更について
- 3 愛知県土地改良事業団体連合会事務局規程の一部変更について
- 4 愛知県土地改良事業団体連合会水土里情報システム運用管理規程の設定について
- 5 平成23年度一般会計収支補正予算の専決処分について
- 6 その他
 - (1)3.11東日本大震災復興支援 水土里の集い ~第34回全国土地改良大会 in みやぎ~の開催について
 - (2) 受託業務の契約方法についての検討

支会長会議開催

支会長会議を、7月15日愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。会議には、神谷金衛会長(岡崎支会長)、浜田一徳副会長(海部支会長)、市野清一名古屋副支会長、沢田丸四郎半田支会長、川上万一郎幡豆支会長、小久保三夫豊橋支会長が出席された。会議は、始めに神谷会長より挨拶がなされ、続いて、神谷会長を座長に選任し、議事に移った。提出した協議事項(理事会提出予定協議事項)と報告事項(受託業務の契約方法についての検討と支会運営研究会等の報告)については、それぞれ、資料に基づき説明が行われた後、活発な意見交換が行われた。

参与会開催

参与会は、定款第31条に「この会の業務の運営を適切に行うため必要があるときは、 参与若干人を置くことができる。」と規定されており、それに基づき年数回開催し、諮問に 応じていただいています。

今年度最初の参与会を、4月22日愛知県土地改良会館7階大会議室において開催した。青木章雄専務理事の挨拶の後、参与を代表し、溝田大助愛知県農林水産部農林基盤担当局長より挨拶をいただいた後、事務局より、議題である本会の運営についてを本会の概要、受託事業等の資料により説明を行った後、参与の方々より助言・指導をいただいた。

また、水土里情報システムの利活用の推進に向けたシステムのデモンストレーションを 併せて行った。

第52回全国土地改良功労者表彰式 並びに 平成22年度農業農村整備優良地区 220 = 0 表彰式 開催

5月23日、第52回全国土地改良功労者表彰式並びに 平成22年度農業農村整備優良地区コンクール表彰式が、 東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーで開催された。

表彰式には、農林水産省より筒井信隆農林水産副大臣、 吉村 馨農村振興局長始め幹部の方々が来賓として出席し、 全国より受賞者、関係者約600人が参集した。

表彰式に先立ち、「日本農業の活路を探る」と題して、 名古屋大学大学院生命農学研究科の生源寺眞一教授による 記念講演が行われた。

表彰式では、冒頭に東日本大震災で亡くなられた方のご 冥福を祈り黙祷をした後、野中広務全国水土里ネット会長 が、この度の未曾有の大震災の被災にあわれた方々の早期 の立直りと復興を願うとともに受賞者の労をねぎらい「今 後も土地改良事業の推進と地域振興にご尽力を賜わります よう心からお願い申し上げます。」と挨拶、その後筒井農 林水産副大臣より祝辞をいただき、賞状授与に移った。



野中全国水土里ネット会長挨拶



筒井農林水産副大臣祝辞

土地改良功労者表彰では、団体表彰として農林水産大臣表彰の優良土地改良区4地区、 全国水土里ネット会長表彰の金章35地区、銀章62地区、銅章36地区が受賞、個人表 彰として97名が晴れの栄誉を受けた。

本県からの受賞は次のとおりです。

土地改良功労者表彰

全国水土里ネット会長表彰

団体表彰



祖父江町土地改良区



阿久比中部土地改良区



七宝町土地改良区 二川土地改良区

個人表彰 林 立規 (宝南悪水土地改良区理事長) 水野浩和 (水土里ネット愛知豊田支会事務長)

受賞の栄に浴された団体並びに個人の方々に心よりお慶びを 申し上げます。



6月9日 中日新聞 朝刊に掲載

愛知県知事と農林漁業団体との懇談会

6月13日、愛知県公館において、愛知県知事と農林漁業団体との懇談会が開催された。

懇談会は、「食と緑の基本計画2015」に掲げる施策推進にあたり、団体から要望を 伺うとともに意見交換を行う趣旨で開催されたもので、愛知県からは、大村秀章知事、小 川悦雄副知事始め農林水産部の幹部の方々が出席され、団体からは、本会の神谷金衛会長 始め、農業協同組合中央会、経済農業協同組合連合会など6団体の代表が出席した。







意見交換で発言される神谷会長

大村知事あいさつの後の意見交換では、神谷会長は、平成21年度、22年度の厳しい農業農村整備事業予算の国、県の動向の説明、その中でも22年度は、県においては国の21年度の繰越金を活用され、県の平成22年度当初予算は対前年比80%程度の縮小に押さえ、影響を最小限に留めていただいたお礼、また農業農村整備事業の役割や、農業生産基盤については、担い手への集積のためのほ場の大区画化、用水のパイプライン化を始め用排水路の更新整備などの事業は全国有数の農業産出額を誇る本県農業を支える重要な施策であること。農地防災については、ゼロメートル地帯などの低平地を洪水から守る排水機場の整備・更新や洪水調整機能を持たせる豪雨対策、地震時の決壊を防ぐ耐震対策としてのため池の整備は、農地のみならず農村に住む県民の生活を守るためには必要欠くべからざる施策であることを述べ、この趣旨は「基本計画」にも位置づけられていることのお礼を述べた。その後、県の支援のお願いとして、農業農村整備事業の推進は、本県農業を支えるのみならず、農村部の町づくり、安心・安全な生活を守る地震防災対策であるので縮小した公共事業予算の大幅な復元と、公共事業で実施できない小規模な農業農村整備事業を行う単独補助の土地改良事業についても本会会員である市町村、土地改良区の要望にこたえられるよう予算の拡充の要望がなされた。

大村知事からは、意見交換の後、締め括りとして「明日、6月14日に本予算の記者発表がある。防災対策を中心にそれなりの予算をつけたのでご理解願いたい。」とあいさつがあった。

平成24年度 農業農村整備予算確保と促進要請活動

7月11日、農林水産省、総務省及び民主党(陳情要請対策本部、政策調査会、農林水産部門会議等関係)衆・参国会議員に対し、平成24年度農業農村整備予算確保と促進要請活動を実施した。

本会の小久保三夫理事(豊橋支会長)と青木章雄専務理事のほか、愛知県から山本信介農林水産部農地計画課長が参加し、最初に民主党農林水産部門会議農業農村整備WT事務局長の森本和義衆議院議員(愛知15区選出)に対し、愛知県全体の提案8項目の実現に向けた要請を受けていただき、その後、森本議員に同行してもらい、各先生方にも要請を受けていただいた。

要請書並びに8項目の内容は次のとおりです。

〔要請書〕

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業農村整備事業予算は、新政権のもと初めて編成された平成22年度において大幅に削減され、23年度に多少の回復を見せたものの21年度と比較すれば大幅に落ち込む極めて厳しい予算であります。このままでは国営事業、県営・団体営事業を問わず、継続地区は完了が大幅に遅延し、新規地区の採択は厳しく抑制されるものと大変危惧しています。

本年3月の東日本大震災の爪痕は今もなお被災地域に残り、人々を苦しめていますが、その復旧・復興に向けて、国だけでなく県・市町村及び県土連も支援活動を続けております。被災地域の一刻も早い復興を願ってやみません。

本県は、全国で一番広い海抜ゼロメートル地帯を有しこの低平地に優良な農地が広がっております。今後30年以内に大規模地震が発生する確率は87%とされる特殊事情を抱える中、この度の教訓を踏まえれば、減災・免災のための農業用施設の耐震化・更新整備が喫緊の課題であります。

このため、今回、農地防災対策事業の重点化と戦略作物生産拡大関連緊急整備 事業・農地水保全管理支払交付金の継続を中心とした要請を行います。

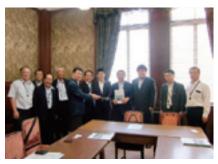
経済の低迷により、愛知県の財政状況は一段と厳しさを増しておりますが、効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく必要がありますので、ご高配お願いいたします。

平成23年7月11日

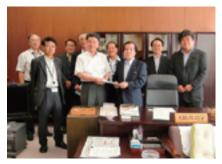
愛知県土地改良事業団体連合会

会 長 神 谷 金 衛

理 事(豊橋支会長) 小久保 三 夫



陳情要請対策本部へ要請



吉田農林水産大臣政務官へ要請

[8項目]

- 1 農業農村整備事業予算の増額について
- 2 農業用排水機場の更新整備、耐震対策の促進について
- 3 戸別所得補償制度を支える生産基盤整備の事業制度の存続について
- 4 農地・水保全管理支払交付金 (共同活動支援交付金)の継続について
- 5 国営総合農地防災に係る地震防災型事業制度の創設について
- 6 国営尾張西部地区で造成された排水機場の適切な機能保全について
- 7 国営新濃尾総合農地防災事業の推進について
- 8 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について



吉村農村振興局長へ要請

同日、豊橋支会も要請活動を実施し、支会から加藤、森下副支会長、秋田事務長、愛知県から八木東三河農林水産事務所長、伴新城設楽農林水産事務所建設課長が参加した。

「食と緑の基本計画2015」策定

食と緑が支える豊かな「あいち」をめざして 一

愛知県は平成16年4月に「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」を施行した。平成17年2月には、食と緑の条例に掲げた施策の基本的な方針である「食と緑の基本計画」を策定し、平成22年度を目標年度として、農林水産物の生産活動と森林等の多面的機能に対する県民の理解と活動の促進、安全で良質な農林水産物の持続的な生産と供給の確保などに関するさまざまな施策に、県民との協働・連携に努めながら取り組んできた。

しかし、地球温暖化の進行、生物多様性の損失などの地球環境問題が顕在化しているほか、局地的な集中豪雨や大規模地震などによる自然災害の発生リスクも高まっており、これらの問題に対する積極的な対応が求められている。

「食と緑の基本計画2015」は、このような食と緑をめぐる現状を踏まえ、食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくりをめざして、県として、あるいは県が県民と協働・連携して取り組む、食と緑に関する施策の基本的な方針として平成23年5月に策定されたもので、7章と参考資料で構成され、5主要目標、52施策目標が掲げられている。

詳しくは、愛知県農林水産部農林政策課HP(http://www.pref.aichi.jp/nourin/)をご覧ください。

第4章 施策体系と主な取組

NN 事業関係抜粋

- 施策の柱① 安全で良質な農林水産物の生産と供給の確保
 - (2) 意欲ある人が伸びる農業の実現
 - イ 農業生産基盤の整備と優良農地の保全
- 施策の柱② 県産農林水産物の適切な消費と利用の促進
- 施策の柱③ 自然災害から守られ、緑と水に恵まれた生活環境の確保
 - (1) 森林等が有する多面的機能の適切かつ十分な発揮
 - (2) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保と農山漁村の活性化

第5章 重点的取組

施策の柱① 5 農業生産基盤整備の推進

国際競争力のある足腰の強いあいちの農業を実現するため、その基礎となる農業生産基盤の整備を推進します。

施策の柱③15 生物多様性を保全する活動の推進

COP1Oを契機とした生物多様性に対する県民の意識の高まりを活かし、 里地・里山・里海などにおける県民参加型の環境保全活動を促進します。

16 災害に強い農地や森林の整備

県土の礎である農地や森林、周辺集落を地震や洪水などの自然災害から守るため、ため池、排水機場、治山施設などの整備を推進します。

あいちの農業用水展~水が育てる愛と知の風土~

愛知県図書館で開催!

「水の週間」をはさんだ7月15日から8月10日まで、愛知県の主催、水土里ネット愛知と水土里ネット愛知用水、(財)愛知・豊川用水振興協会の共催で、水が育てる愛と知の風土をテーマに「あいちの農業用水展」を愛知県図書館において開催した。

この「あいちの農業用水展」は、県下の農業用水の歴史と変遷を中心に、パネルにより時代を追って紹介することにより、先人の努力の積み重ねにより育まれてきた「水」の重要性について広く一般に周知し、関心を高めてもらおうと県内各地で開催し、昨年度に引き続き、今年度も愛知県図書館で開催した。

1階ロビーに、木曽川水系の宮田用水、木津用水、木曽川用水、愛知用水、矢作川水系の明治用水、枝下用水、矢作川用水、豊川水系の松原用水、牟呂用水、豊川用水など県内の大規模な農業用水のパネルの展示や、今年度は、水田魚道の模型を展示、2階ロビーは、今年9月30日に、通水50年を迎える愛知用水に関する資料やパネルなどを特別展示した。

夏休み期間ということもあり、図書館には1日約2,600名の来館者があり、そのうち「あいちの農業用水展」には約220名(夏休みの某1日調査を実施)が訪れ、展示パネル

や資料を興味深そうに見入っていた。常設しておいたアンケートには期間中152名の協力があり、多くの人々に農業用水の歴史や役割について理解をしてもらった。



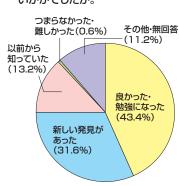
大規模農業用水パネル展示



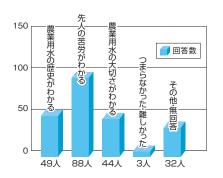
愛知用水特別展示

アンケートの一部より

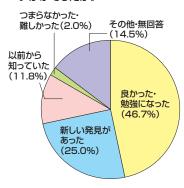
□「あいちの農業用水展」の内容は いかがでしたか。



□「水を導く」と「水を育む」のパネルの 内容はいかがでしたか。(複数チェック可)



□「愛知用水特別展示」の内容は いかがでしたか。



8月1日からの一週間は、昭和52年の閣議了解により、水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため「水の週間」と設定されています。



1 加入・脱退

【土地改良区】

5月31日御津町土地改良区、音羽町土地改良区、小坂井町土地改良区より脱退届が提出され、本会から脱退しました。(6月1日付けで豊川市土地改良区に合併のため)

● 9月1日現在の水土里ネット愛知の会員数は、167会員(市町村54、土地改良区113)です。

1 ▮ 活動情報

【水土里ネット明治用水】

5月1日、通水130年記念事業の一環として建設を進めていた「水のかんきょう学習館」が、明治用水会館北側の大池公園内にオープンした。この施設は、明治用水の「水」「農」「食」「環境」をテーマとし、これからの社会を担う子どもたちを始めとした地域の人々に、明治用水に親しみ、明治用水を楽しく学んでもらう環境学習施設で、長野県根羽村等に所有、

管理する水源かん養林の育成から水循環、水と食や生き物との関わり、農業用水路や農地の役割についてのプログラム提供や情報発信を随時行っていく。



学習室



ギャラリー

【水土里ネット宮田用水】

5月6日、一宮市立浅井南小学校3年生の75名が、宮田用水中央管理所の見学に訪れた。当日は、水土里ネットの職員が、宮田用水の歴史、水土里ネットの仕事や役割について、パワーポイントを活用し、分かり易く説明した。また、水管理システムの操作室や、宮田導水路に設置された除塵機を見学した。

児童たちからは、実際にどのような仕事をしているのか質問があり、農業用水を安定して安全に田んぼに送るための施設を整備していることや、水土里ネットの人たちが日々農業用水施設を管理していることを説明した。

7月25日~27日、一宮市立西成東部中学校2年生の3名が、「総合的な学習の時間」の一環として、中央管理所で職場体験学習を行った。



職員による出前事業



除塵機見学

1日目に犬山頭首工と水土里ネット宮田用水の施設を視察、2日目は、前日視察した宮 田用水施設の巡回と施設敷地内の草刈り作業を体験、3日目は、前日同様施設の巡回と宮 田用水本部事務所で業務内容や農業用水の流れなどを学習、また、1日目と2日目は、用 水に棲息する生き物調査も実施した。中学生には、宮田用水を学び、水土里ネット職員の 業務体験をすることができ、管理所の職員も日ごろの業務をフィードバックする良い機会 となった。







草刈り作業体験



生き物調査

【水土里ネット南陽、名古屋市】



茶屋新田田んぼアート実行委員会



役員による輪郭植え

5月15日、地域内の農地で、「田んぼアート」の田植え に250名余が参加した。このイベントは、水土里ネット 南陽地域において、市民と農家等が協働で農を支える活動 を推進することにより、地域の水田を保全することを目的 として設置された「茶屋新田田んぼアート実行委員会」が主 催した。

実行委員会は、会長が農地・水・環境保全向上対策の活 動組織「茶屋新田地域資源保全隊」代表、副会長が名古屋市 緑政土木局参事、委員が水土里ネット南陽理事長等で構成 されている。

実行委員会を数回開催し、田んぼアートのデザインは、 ファイト東日本のロゴ、名古屋市のキャラクター「ハチマ ル」、水土里ネットのキャラクター「マイチャン」に決定、

4月29日に測量を実施し、5月14日には水土里ネットや保全隊の役員がデザインを基 に「輪郭植え」を行った。

15日は、一般公募(参加費8,000円/1世帯)で集まった親子連れ等200名余と、

実行委員会の構成員50名 余が、デザインのパーツ別 に分かれ、黒や赤の古代米や、 「愛知のかおり」の苗で田ん ぼアートに取り組んだ。そ の傍らで田植え機を使った



田んぼアート



ラジコンヘリより撮影

「田舟曳き」を実施したところ、大賑わいを見せていた。

6月12日にはラジコンヘリを飛ばして、1ヶ月後の田んぼの風景を撮影、7月3日には地域住民に観察会実施のPRをしたところ大勢の見学者が訪れた。10月8日には、田植えの参加者が稲刈りを実施する予定、その後参加者には収穫米を使用した酒2升と米10kgが配付される。

【水土里ネット愛知用水】

5月20日~21日、愛知用水利水者連絡協議会(会長:澤田水土里ネット愛知用水理事長)主催の愛知用水通水50周年記念「水源地感謝の集い」が開催され、20日には、王滝村公民館で、車座討論会を開催、水源地と受益地の若者たちが、「水の絆をどのように伝えていくか、水の恵みをどのように引き継いでいくか。」を討論した。司会は、水土里ネットの岡田管理課長が務め、18名が討論会に参加した。最後に、「共同宣言」を発表、翌日の式典で宣言された。



ツツジの植樹



牧尾ダム施設見学

5月21日、長野県王滝村にて「未来世紀へつなぐ緑のバトン育樹祭」が開催され、愛知用水の受益地である知多市の親子25名と共に参加した。

今年は愛知用水通水50周年ということもあり、緑のバトン会場である松原スポーツ公園には水源地域の人々や受益地域の人々が大勢集まっており大変賑わっていた。参加者は、地元地域の人々とふれあいながら『鳥の巣箱作り』や『どんぐりの棒パン焼き』などを楽しみ、また、愛知用水水源地域における森の復興を願い『ツツジの植樹』を行った。最後に、牧尾ダムを見学、参加者は、水資源機構牧尾管理所職員の説明を大変熱心に聞き、大きくうなずいている姿を目にした。

6月3日、尾張旭市立旭丘小学校で、校区内にある「濁池」の自然保護活動をしている農地・水・環境保全向上対策の活動組織「濁池地域環境保全の会」と連携して、愛知用水について学ぶ出前授業を行った。

水土里ネットの春日井事務所の職員2名が講師を務め、 4年生119人に、今年で通水50周年を迎える愛知用水 の歴史、水の利活用による農業や産業の発展などをパネル を使って説明した。出前授業の最後に、クイズを交えて質 問すると、児童たちは、元気よく手を上げて楽しそうに回 答していた。



職員による出前授業



水土里ネット理事挨拶

【水土里ネット豊川総合用水・豊橋市】

7月16日と17日、豊橋総合動植物公園において、JA豊橋と豊橋市の共催により開催された「第10回市民農業まつり」に、水土里ネット豊川総合用水と豊橋市農地整備課は、愛知県東三河農林水産事務所建設課・豊川用水課、独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部、本会豊橋支会と共同して、昨年に引き続き参画した。

会場には、2日間で16,200名余の来場があり、「農地・水・環境を守ろう」というタイトルで、農業農村整備事業を始め、農地・水・環境保全向上対策や水土里ネットの役割、豊川用水の歴史等についてのパネルを展示した「水土里ネットのブース」には、約1,500名が訪れ、アンケート参加者には「あいちの水」を配付し、イベント開始から行列ができるほどの賑わいであった。







会場の様子

パネル展示

パネル展示

【水土里ネット木津用水】

8月4日、水土里ネット木津用水は、8市3町(小牧市、犬山市、春日井市、岩倉市、江南市、一宮市、北名古屋市、名古屋市、大口町、扶桑町、豊山町)で構成する木津用水水管理対策協議会が主催する第33回「水の週間」シンポジウムを「都市近郊農業と施設の保全」をテーマに開催した。

講師は、宮崎敏行東海農政局木曽川水系土地改良調査管理事務所長と竹谷裕之名古屋大学名誉教授のお二人で、宮崎所長は「農業水利施設の保全に向けた取り組み」、竹谷教授は「都市近郊農業と土地改良区関係者がやるべきこと」をテーマに講演がなされた。会場となった小牧市公民館講堂には、木津用水の地区総代や各行政の担当者120名余が参集し、熱心に耳を傾けていた。



山下小牧市長挨拶



吉田理事長挨拶



講師のお二人

■ 水土里ネットや市町村の様々な活動を掲載するコーナーです。多数の情報をお待ちしております。 総務部企画広報課TELO52-551-3613

事業情報

水土里情報システム

◆ 水土里情報システム運用開始

水土里ネット愛知は、平成18年度から22年度に水土里情報利活用促進事業(国費: 100%)で整備した、水土里情報システム(GIS システム)を平成23年度より運用を開始した。

本システムを活用して、施設・営農・農振・農地水保全管理・事業管理等各種業務の効率化と地域農業の振興に寄与する。

操作説明会

運用開始として、利活用機関・団体の担当者の皆さんに対して操作説明会を4月19日~25日に午前・午後の部計10回開催した。



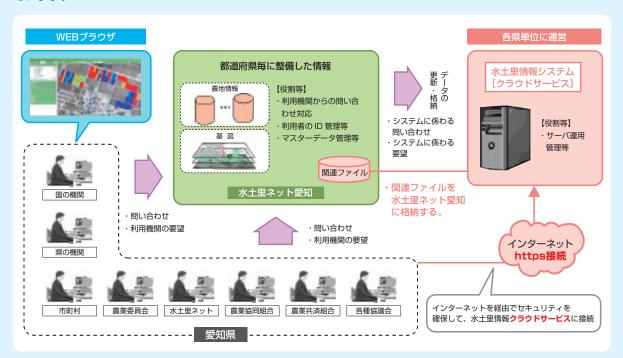
操作説明会

利活用機関・団体

愛知県、市町村、農業委員会、水土里ネット、共済組合連合会、農業協同組合、水田協議会、水土里ネット愛知の利用機関・団体で運用開始した。

水土里情報システムの利用方法

水土里情報システムは、各利用機関の事務所等から、インターネットを経由して利用することになります。 あらかじめ登録されたユーザーIDとパスワードを用いて利用しますので、情報セキュリティはしっかり確保されています。



◆ 水土里情報システム試行運用

7月22日、東海農政局並びに愛知県の出席をいただき、平成23年度から運用開始が出来なかった水土里ネット愛知の会員(市町村、水土里ネット)に対して、平成24年度からの本運用に向けての試行運用の説明会を開催した。

- (1) 水土里情報システムの活用について (東海農政局整備部地域整備課)
- (2) 愛知県における水土里情報システムの活用について (愛知県農林基盤担当局農地計画課)
- (3) 水土里情報システムの利活用紹介 (水土里ネット愛知計画部調査課)
- (4) 農業委員会台帳システムと水土里情報システムの連携について (NTT 空間情報(株))
- (5) 水土里情報システムの試行利用について (水土里ネット愛知計画部調査課)
- (6) 今後のスケジュール (水土里ネット愛知計画部調査課)

水土総合強化推進事業

◆ 平成23年度愛知県換地等強化事業推進委員会

6月10日、本会6階第1研修室において愛知県換地等強化事業推進委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

- 1 水土総合強化推進事業実施要綱・要領の制定(水土総合強化推進事業推進委員会 設置運営規程)
- 2 平成22年度事業実績報告並びに収支決算(土地改良換地等促進事業・土地改良 相談事業関係分)、平成23年度事業実施計画並びに収支予算(土地改良換地等強 化事業関係分)
- 3 遅延地区

◆ 平成23年度愛知県管理円滑化事業推進委員会

6月20日、本会6階第1研修室において愛知県管理円滑化事業推進委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

- 1 平成22年度実績報告
- 2 平成23年度実施計画

◆ 平成23年度連絡調整会議

6月20日、本会6階第2研修室において連絡調整会議を開催した。愛知県農地計画課を始め各農林水産事務所建設課のアドバイザーに出席いただき、水土総合強化推進事業実施要綱に基づく、平成23年度新規加入(35期生)地区の実施計画、23年度適正化事業実施計画、及び平成24年度新規(36期生)事業実施要望等について協議し、土地改良施設の維持管理、事業の拡充強化について意見交換がされた。

◆ 平成23年度換地事務「新規担当者並びに換地計画実務」研修会

8月24日、25日、30日、本会7階大会議室において換地事務「新規担当者並びに換地計画実務」研修会を開催した。東海農政局土地改良管理課、名古屋法務局、愛知県農地計画課、農業振興課から講師を招き、県、市町村、水土里ネット、コンサル等の換地技術者が出席した。

◆ 技術力向上事業

平成23年度から技術力向上事業が事業化された。水土総合強化推進事業実施要綱第2の4には、「技術力向上事業は、農業農村整備事業の円滑な実施を図るため、土地改良区の役職員等の技術力向上のための研修を実施するものとする。」、第6の1には、地方連合会が行う技術力向上事業「地方連合会は、土地改良区の役職員等に対して農業農村整備事業に関する技術実践研修を行うものとする。」と定められた。

今年度、東海農政局管内は、本会と水土里ネットみえが実施することとなった。開催予定日は、「研修会のお知らせ」をご覧ください。

◆ 日本政策金融公庫農業基盤整備資金の金利改定

日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利が、下記のとおり改定された。

	5月27日	7月21日	8月18日
県営補助残	1.65% -	→ · · · · · -	→ 1.55%
団体営補助残	1.50% -	→ · · · · · -	→ 1.40%
団体営非補助	1.50% -	→ ···· -	→ 1.40%
災害復旧 5年以内	0.65% -	→ 0.70% -	→ 0.60%
10年	0.85% -	→ 0.95% -	→ 0.85%
15年	1.25% -	→ 1.35% -	→ 1.15%
20年	1.50% -	→ · · · · · -	→ 1.40%

[●] 詳細については、名古屋支店農林水産事業農業食品第二課(TEL052-582-0745)に問い合わせください。

平成23年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体(31期生~35期生)打合せ会議

5月10日、本会7階大会議室において平成23年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体打合せ会議を開催し、加入団体63団体85名の出席のもと次の事項の打合せを実施した。

- 1 土地改良施設維持管理適正化事業実施計画
 - (1) 平成23年度加入土地改良施設維持管理適正化事業(35期生)の年度別実施状況調書
 - (2) 平成23年度土地改良施設維持管理適正化事業実施計画調書
- 2 土地改良施設維持管理適正化事業事務手続き
- 3 注意事項

また、打合せ会議終了後、希望加入団体の個別案件の打合せを実施した。

一 ガンバロウ!東日本! 一

測量実地研修を実施、

本会職員を復旧支援に派遣

去る3月11日に発生した我が国の観測史上最大規模の東日本大震災により被災された 方々に心からお見舞いを申し上げます。

本会と愛知県は、被 災県への緊急支援要請 に対し、即時の対応に 取り組めるよう、職員 の復旧支援への派遣に 先立ち、4月27日午 前、測量の実地研修を





行い、総勢70名余の職員が参加した。講師には、本会整備部測量課職員6名が6班に分かれ、愛知県土地改良会館近くの西枇杷島公園内のグランド全面を使って、トータルステーション(光波測距儀)の設置の方法から観測までと、平板測量の研修を実施した。また、午後からは、愛知県土地改良会館7階大会議室で、愛知県主催の災害復旧応援者研修会が開催され、講師の東海農政局防災課立松、山口両災害査定官から、災害復旧事業の講義



測量実地研修

(概要、被災写真の作成方法、計画概要書の作成など)を受講した。

本会は、5月16日から6月10日まで技術職員2名を、農地・農業用施設・生活関連等が極めて甚大な被害を受け、早急な復旧支援の要請があった水土里ネット福島へ派遣した。職員2名は、およそ4週間、内陸部の農業用ダム「藤沼湖」が決壊し、濁流が流域の家

屋や田畑を襲った地域 の測量業務に携わっ た。

愛知県においては、 9月から被災県への災 害技術支援を予定され ている。





福島被災地測量状況

会員の皆様にご協力いただきました「東日本大震災地支援水土里ネット募金」は、5月13日時点で4,565万円余(全国)となり、第一弾として、被災県の被害額などを考慮して、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の各県土連に分配することとなり、5月24日から3日間かけて、野中全国水土里ネット会長らが各県土連に出向き、贈呈されました。

研修会のお知らせ

研修会名	開催予定日	受講対象者	関係部署
農業用排水機県営移管期成 同盟会視察研修会	9月27日 (火) ~ 28日 (水)	農業用排水機 期成同盟会会員	総務部総務課
技術力向上事業技術実践研修	10月31日(月)~ 11月2日(水)	市町村職員、 水土里ネット役職員	総務部企画広報課
水土里ネット役職員研修会	役職員研修会 1月中旬		総務部企画広報課

[■] 詳細については、その都度受講対象者に関係部署よりご案内します。

●平成23年度農業農村整備事業PRイベント 開催案内

~「水土里ネット」ってなんだろう?~

子ども向けの体験「遊ぼう・ふれあおう・感じよう」を通じて水土里ネットの役割や大切さを 一般県民に啓発します。

開催期間 平成23年10月22日(土) 午前10時~午後4時

開催場所 安城サンクスフェスティバル(中心市街地交流広場)内

主 催 プロジェクト水土里 (愛知県、水土里ネット愛知、水土里ネット明治用水、(財) 愛知・豊川用水振興協会)

● 第10回あいちの農業・農村フォトコンテスト 作品募集

愛知県の活力ある美しいむらづくりのための農業農村整備を推進し、すばらしき、あいちの農業・農村を広く一般に紹介するため、広報キャンペーンの一環として作品を募集します。

テーマ 「水土里が育むあいちの農業・農村」

 賞
 水土里のフォト大賞 ……
 1点
 (賞状、副賞3万円)

 水土里のフォト優秀賞 ……
 2点
 (賞状、副賞1万5千円)

 水土里のフォト入選 ……
 10点
 (賞状、副賞5千円)

 農地・水・環境保全向上活動特別賞 ……
 3点以内
 (賞状、副賞1万円)

 水土里のフォト参加賞 ……
 参加者全員(記念品)

応募締切 平成23年11月30日(当日消印有効)

詳細は、水土里ネット愛知ホームページ (http://www.aichi-doren.or.jp/)をご覧ください。



第9回水土里のフォト大賞

残暑お見舞い申し上げます。

 水土里ネット愛知
 会
 長
 神
 谷
 金
 衛

 副会長浜田一徳
 専務理事青木章雄
 代表監事白木実夫
 外役職員一同



木津用水路(第9回入選作品)